

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月27日

計画の名称	妻北地区（3期）都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	西都市												
計画の目標	古代からの歴史文化を活用し、にぎわい交流による地域再生と豊かな住環境を形成するまちづくり ・安心して快適に暮らせる豊かなまちにしていくためのネットワーク整備 ・自然環境の保全と景観に配慮した歴史・文化を活かしたまちとしての魅力づくり ・まちを育み、継承する人材づくり												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	605	A	599	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.99	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27末		R2末
1	記紀の道（逢初川歩行者専用道路）の利用者数を12,932人/年から40,000人/年に増加させる 歩道新設による記紀の道（逢初川歩行者専用道路）の利用者数を計測する	12932人/年	人/年	40000人/年
2	桜川の通行者数を56,210人/年から163,000人/年に増加させる 桜川沿い歩道の通行者数を計測する	56210人/年	人/年	163000人/年
3	住民の当該まちづくりの満足度83%から85%にする 住民アンケートによるまちづくりの満足度調査を実施する	83%	%	85%
4	市民グループによるまちづくり活動について、ボランティア活動等の人数を665人/年から820人/年に増加させる ボランティア活動等の人数を計測する	665人/年	人/年	820人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	西都市	直接	西都市	-	-	都市再生整備計画(妻北 地区(3期))(A-1)	逢初川歩行者専用道路L=330 m等	西都市						599		-	
												小計						599		
											合計						599			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	西都市	直接	西都市	-	-	レンタサイクル社会実験 （C-1）	記紀の道活用レンタサイクル 社会実験	西都市						3	-		
	「1-A-1」と一体的に実施することで、記紀の道の利用促進が図られるとともに、無料巡回バスとの相乗効果も期待され、来訪者の増加による賑わい創出にも寄与する。																			
	C10-002	都市再生	一般	西都市	直接	西都市	-	-	無料巡回バス社会実験（ C-2）	無料巡回バス社会実験	西都市						3	-		
	「1-A-1」と一体的に実施することで、西都原古墳群等からまちなかへの誘導効果が図られるとともに、利用用途の幅が広がり、滞在時間の延長に寄与する。																			
											小計						6			
											合計						6			

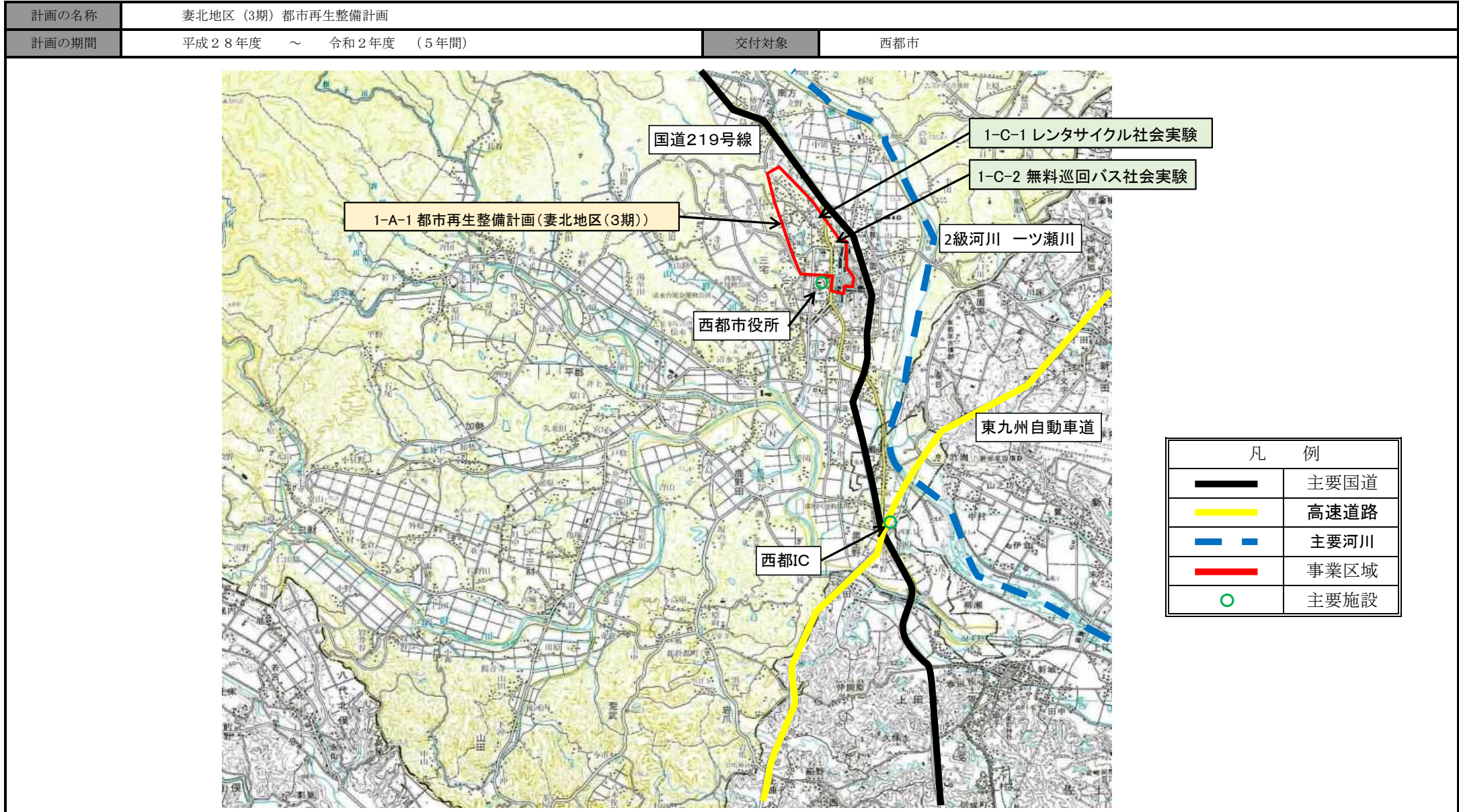
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
配分額 (a)	25.300	46.800	54.000	46.900	
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	25.300	46.800	54.000	46.900	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	0.000	31.320	
支払済額 (e)	25.300	46.800	22.680	38.355	
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000	31.320	39.865	
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	26.313	31.475	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	48.7%	40.2%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由			用地交渉において、時間を要したため。	基礎工法の選定に当たり、不測の日数を要したため。	

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 妻北地区（3期）都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○